

第 55 回 いわき市民美術展覧会

書 の 部

令和 8 年 2 月 6 日～ 2 月 15 日

午 前 9 : 30 ～ 午 後 5 : 00

い わ き 市 立 美 術 館

- 主 催** いわき市民美術展覧会運営委員会・いわき市教育委員会
いわき市文化協会・いわき市立美術館
- 後 援** 福島民報社・福島民友新聞社・いわき民報社・NHK福島放送局
ラジオ福島・福島テレビ・福島中央テレビ・福島放送・テレビユー福島
FMいわき
- 協 力** いわき美術協会・いわき陶芸協会・いわき書道協会・いわきアート集団

審 査 講 評

今年末、書道がユネスコの無形文化遺産に登録されることを目指していることは周知のとおりである。伝統文化としての“書道”を継承していくには大きなエネルギーが必要である。同じことを繰り返しては、文化は衰退していつてしまう。書に関わる私たちが、今より少しでも高みを目指して前進していかないことには書道は伝統文化として未来に繋がるものとはなり得ない。無形文化遺産への希望は、私たち書に関わる者すべての覚悟を表すものと考えたい。

展覧会作品の制作過程は、自分と向き合う苦しい作業ではあるものの、その努力は確実に積み重なり己の力となっていく。

書道香環会の創設者で、長くかな書道界を牽引してきた榎倉香邨（1923～2022）は、「近代の書は、展覧会によって育ってきたと言っても過言ではない」と記している。書の本質は変わらないとしても、表現の形は時代の変化に伴い、現在もなお変化しつつある。香邨は月刊誌「書香」の中で、書の美について次のように説いている。

——第一に求められているのは墨色、線の冴えであるまいか。紙や作品への願いを満たす墨色と、それを生かせる筆で引いた線が余白の美しさを生むものとなる。第二は時間性があるかということ。単調ではなくドラマがなければ困る。作品に蕩々とした大河の動き、あるいは変転する溪流のリズム、音の旋律を彷彿とさせるような作品でありたい。第三は近代的空間であろうか。人間のごく自然な気持ちの高まりを直裁に表したい。行間のリズム差、大きな間や寄せられていく密な間、線とともに働く生きた間がほしい。——

ルーチョ・フォンタナ《空間概念 - 期待》（いわき市立美術館蔵）のキャンヴァスを引き裂いた厳しい線、そして長谷川等伯「松林図」の空間美などを求めて制作した榎倉香邨の作品の数々は、一作一面貌と称され、どれも格調高く、今も私たちに魅了する。

令和7年度第55回市美展書の部は、出品総点数149点。一般6点、青少年8点増加となり嬉しい結果となった。

市美展は、文字通り芸術に親しむ市民の身近な発表の機会として存在する。出品者の書歴や技量に多少の違いがあるとしても、どれも渾身の作であることを踏まえ、作品を前に、敬意を持って審査に当たらせていただいた。入賞作品数に限りがあり、厳しい審査条件ではあったが、市長賞、議長賞、教育長賞各1点、佳作10点、青少年賞4点を選出した。

入賞の可否にかかわらず、この結果は一つの通過点であると考え、一年に一度の貴重なこの機会に、出品作について会派を超えた多くの批評を仰ぎ、次作に生かすヒントを掴んでいただき、第56回展に向けて更なる研鑽を期待する。

令和8年2月4日

審査員長 井戸川 保 子

書の部 入賞者

賞 名	題 名	氏 名	住 所
いわき市長賞	春 明 艸	西 恵美子	四倉町
いわき市議会議長賞	杜 甫 詩	山 川 榮 雪 平	
いわき市教育委員会教育長賞	園 居	古和口 瑛 香	中岡町

《佳作》

福島県報徳社賞	三 字 句	齊 藤 福 庵	郷ヶ丘
遠藤一心堂賞	謝 靈 運 詩	小 野 恵 風	滋賀県近江八幡市土田町
キョー一和賞	臨 王 鐸	田 村 萬 里	中央台
株式会社風雅プランニング賞	幸 運 の 順	渡 辺 梨 花	石塚町
〃	杜 荀 鶴 詩	鈴 木 小 琴	植田町
ガスワン賞(常磐共同ガス株式会社)	沈 佺 期 詩	櫛 田 啓	中央台
ひまわり信用金庫賞	芭 蕉 の 句	古 市 澄 子	泉ヶ丘
ときわ会賞	杜 甫 詩	笹 田 北 陸	勿来町
有限会社朝日建工賞	張 廷 玉 詩	渋 井 静 華	錦町
いわき書道協会賞	春 の 風	實 川 一 子	常磐上湯長谷町

《特別賞》

青少年賞(いわき書道協会賞)	安 積 良 斎 詩	渡 部 愛 加	平北白土
青少年賞(遠藤一心堂賞)	寒 山 詩	遠 藤 知 胡	郷ヶ丘
青少年賞(富士川新社賞)	臨 寸 松 庵 色 紙	新 田 和 奏 平	
青少年賞(有限会社朝日建工賞)	臨 風 信 帖	奥 藤 凜	小名浜

※審査員はいわき市民美術展覧会運営委員会での推薦をもとに決定され、三賞および佳作等は審査員が選考します。
 ※青少年賞は、若手育成を目的とした賞で、20歳未満の出品者を対象とします。

書の部

No.	賞	題名	氏名	住所
1		臨牛榧造像記	佐久間心暖	常磐上湯長谷町
2		臨寸松庵色紙	根本穂南	四倉町下仁井田
3		照鏡見白髪	五十嵐雲海	小名浜玉川町
4		臨寸松庵色紙	八代愛磨	平
5		臨牛榧造像記	永島蒼惟	泉ヶ丘
6		臨劉禹錫詩	高木登美子	好間町北好間
7		臨寸松庵色紙	川上峻	常磐西郷町
8	佳作	臨幸運の順	渡辺梨花	石塚町
9		春風生福壽	八矢香陽	常磐湯本町
10		みちのく二題	齋藤恵子	中央台
11		総持閣に登る	西牧翠心	平
12		孟郊の詩帖	藤原美峰	小名浜大原
13		臨風信	赤津結映	東田町
14		王鐸第三種	小野山雅子	小名浜大原
15		臨高野切心經	渡邊優莉奈	内郷御厩町
16		臨隅寺猛龍碑	鈴木カツ子	泉町
17		臨風信	大録陽向	内郷綴町
18		臨故郷	大吉田雪	中央台
19		臨集字聖教序	割谷眞弓	小名浜
20		臨集字聖教序	鈴木志恵子	泉ヶ丘
21		臨人生の決まり	金子功	小名浜岡小名
22		臨寸松庵色紙	平山真凜	平
23		曹操詩帖	根本恵子	大久町大久
24		臨風信	鈴木真陽	平中神谷
25		臨懷素草書千字文	大和田よね子	洋向台
26		施肩吾詩序	望月元水	佐糠町
27		臨集字聖教序	早川眞子	小名浜大原
28		臨蘇軾風經句	遠藤裕鶴	中央台
29		臨隅寺心經	星唯斗	平下荒川
30		臨王維詩心經	本間光鈴	錦町
31		臨隅寺心經	神永里菜	茨城県北茨城市関南町神岡上
32		臨寸松庵色紙	中津津さゆみ	内郷内町
33		臨いにしへの帖	遠藤美幸	小名浜玉川町
34		臨風信	小林真緒	内郷内町
35		臨五言絶句	鈴木綾華	小名浜大原
36		臨隅寺心經	新妻虎太郎	平下神谷
37	招待	臨七言二心經	滝翠嶺	常磐藤原町
38		臨隅寺心經	鈴木匠悟	鹿島町下蔵持
39	青少年賞	臨牛榧造像記	高木優華	渡辺町松小屋
40		臨寸松庵色紙	新木和奏	平
41		臨もろもろの銘	小林きみ子	平沼ノ内
42		臨九成宮體泉	小梶田悠	泉玉露
43	佳作	臨芭蕉の心經	古市士央	泉ヶ丘
44		臨隅寺待心帖	福臺麗子	自由ヶ丘
45	招待	臨春風	池	遠野町滝
46				遠野町滝
47				

No.	賞	題名	氏名	住所
48		壯惲	井上	平下荒川
49		壽思	福岡	内郷綴町
50		張猛	萩生田	常磐関船町
51		臨臨	坂本	湘南台
52		あさ	中野	勿来町
53		一蓮	笹原	中岡町
54			古内	渡辺町昼野
55			篠崎	泉ヶ丘
56		何佳	国分	鹿島町久保
57			宮本	中央台
58		歌風	上遠野	泉町滝尻
59		臨臨	遠藤	平谷川瀬
60		臨臨	星野	常磐下湯長谷町
61		臨臨	込木	平下荒川
62		臨臨	木根	中央台
63		臨臨	根本	好間町北好間
64		臨臨	小松	平
65		臨臨	牛荒	常磐湯本町
66		臨臨	隅河	常磐湯本町
67		臨臨	寸松	中央台
68		臨臨	西行	勿来町
69	少年賞	臨臨	奥藤	小名浜
70	佳	張張	奥井	錦町
71		暖暖	草野	渡辺町田部
72		満満	小松	洋向台
73		誠誠	根本	渡辺町田部
74		臨臨	吉崎	郷ヶ丘
75	招待	天臨	樋田	錦町
76		臨臨	佐藤	内郷御厩町
77		七臨	小室	常磐湯本町
78		臨臨	新藤	勿来町
79	招待	靈臨	石川	平上片寄
80			西山	中央台
81		臨臨	山口	泉町滝尻
82		臨臨	鈴木	小川町高萩
83		臨臨	馬橋	小名浜
84		臨臨	寸松	内郷御台境町
85	招待	心臨	丹野	小名浜岡小名
86			高橋	常磐白鳥町
87		四臨	佐藤	常磐藤原町
88	招待	神保	高久	永崎
89	招待	六高	宮崎	鹿島町上蔵持
90	招待		芳賀	勿来町
91		臨臨	寸松	錦町
92	招待	七吉	馬中	小名浜大原
93			鈴村	埼玉県草加市青柳
94		臨臨	寸松	中央台
95	佳作	沈沈	佳田	中央台
96	招待	「東	うた	泉町
97	招待	七	言	鹿島町米田
98				四倉町上仁井田

No.	賞	題名	氏名	住所
99	審査員	索 幽 異	金 成 大 雅	中央台
100	審査員	平安人の心を遠野和紙の風合いに乗せて	井戸川 大保 子	郷ヶ丘
101	審査員	范 睢 列 伝	馬 上 溪 花	平中山
102	審査員	杜 甫 詩	吉 村 翠 苑	平
103		臨 風 信 帖	白 土 聖 真 子	小名浜林城
104	招待	田部君子のうた～遠野和紙に～	江 川 文 子	常磐上湯長谷町
105	招待	尾崎 喜八の 詩	阿 部 嶋 泉	平下平窪
106		臨 隅 寺 心 経	須 田 眞 広	佐糠町
107		臨 蘭 亭 叙	賀 澤 志 音	小名浜
108		わ が や ど の	塩 田 雪 蓉	小名浜
109	招待	鮮 積 良 齋 明 詩	木 田 湛 周	好間町中好間
110	青少年賞	安 臨 牛 榧 造 像 記	渡 部 藤 齋	平北白土
111		吹 く 風 律 詩	齋 畑 中 静 抄	中央台
112		五 言 律 詩	矢 代 純 子	双葉郡広野町下北迫
113		臨 寸 松 庵 色 紙	赤 塚 郁 斗	内郷綴町
114		杜 荀 鶴 詩	鈴 木 小 琴	平下神谷
115	佳作	三 字 墓 誌 句	齊 藤 福 庵	植田町
116	佳作	臨 元 楨 墓 誌 銘	薄 葉 志 千 里	郷ヶ丘
117		臨 園 王 居 詩	田 村 萬 香	平上平窪
118	佳教育賞	園 杜 甫 明 運 詩	古 和 口 瑛 美 子	中央台
119	教長賞	杜 春 明 運 詩	山 川 西 恵 子	中岡町
120	議市長賞	春 謝 靈 運 詩	小 野 恵 風	平
121	市長賞	謝 李 白 の 凱 寺 心 経	小 野 恵 風	滋賀県近江八幡市土田町
122	佳	春 袁 凱 寺 心 経	實 川 一 子	泉滝尻
123	招待	臨 臨 孫 秋 生 造 像 記	谷 津 葉 咲 香	常磐上湯長谷町
124	佳	臨 臨 隅 寺 心 経	稲 葉 咲 香	内郷宮町
125	招待	臨 臨 隅 寺 心 経	正 齋 藤 涉	小名浜
126		臨 臨 韓 愈 山 子 短 歌	猪 狩 周 伯 胡	錦町
127		寒 与 謝 野 晶 子 短 歌	遠 藤 知 子	双葉郡広野町下北迫
128	青少年賞	臨 臨 牛 榧 造 像 記	清 野 美 知 子	平下荒川
129		臨 臨 風 信 帖	野 澤 眞 央	郷ヶ丘
130		臨 臨 曹 全 碑	折 笠 秀 華	中央台
131		臨 臨 隅 寺 心 経	小 松 和 典	中央台
132		臨 臨 隅 寺 心 経	鈴 木 夢 夏	金山町
133		臨 臨 風 信 帖	久 野 北 有 央	常磐関船町
134		臨 臨 風 信 帖	岡 部 有 香	平中山
135		臨 臨 七 言 律 詩	矢 田 萩 祥 陽	小名浜下神白
136		臨 臨 寸 松 庵 色 紙	高 永 井 敬 心	勿来町
137		臨 臨 王 レ 寺 心 経	永 谷 津 田 木 戸	平
138		臨 臨 觀 隅 寺 心 経	津 田 木 戸 介	小名浜大原
139		臨 臨 高 啓 詩	山 口 瑞 花	泉町
140		臨 臨 寸 松 庵 色 紙	向 井 健 心	泉町
141		臨 臨 牛 榧 造 像 記	長 野 円 花	鹿島町走熊
142		臨 臨 隅 寺 心 経	原 新 井 結 斗	泉ヶ丘
143		臨 臨 風 信 帖	新 井 結 斗	郷ヶ丘
144		臨 臨 寸 松 庵 色 紙	向 井 健 心	常磐上湯長谷町
145		臨 臨 牛 榧 造 像 記	長 野 円 花	四倉町
146		臨 臨 隅 寺 心 経	原 新 井 結 斗	双葉郡広野町上浅見川
147		臨 臨 風 信 帖	新 井 結 斗	錦町
148		臨 臨 風 信 帖	新 井 結 斗	小名浜
149		臨 臨 風 信 帖	新 井 結 斗	小名浜

いわき市民美術展覧会書の部歴代三賞受賞者一覧表

回数	年度	市長賞	議長賞	教育長賞
5	50	雅 楽 川 一 睡	石 川 大 湊	田 辺 碩 声
6	51	田 辺 碩 声	石 川 大 湊	村 上 三 峨
7	52	菅 野 空 谷	園 部 秋 月	雅 楽 川 一 睡
8	53	清 水 桂 心	矢 内 齊	芳 賀 二 葉
9	54	春 日 八 虎	菅 野 桂 洞	雅 楽 川 一 睡
10	55	矢 内 齊	菅 野 桂 洞	滝 翠 嶺
11	56	荒 井 東 苑	滝 翠 嶺	菅 野 桂 洞
12	57	菅 野 桂 洞	矢 内 齊	芳 賀 二 葉
13	58	吉 田 汀 秀	松 崎 秋 香	神 林 東 伸
14	59	滝 翠 嶺	芳 賀 二 葉	吉 田 汀 秀
15	60	神 林 東 伸	吉 田 汀 秀	長 谷 川 素 碩
16	61	神 林 東 伸	芳 賀 二 葉	芦 川 雪 舫
17	62	松 崎 秋 香	川 嶋 石 楠	大 河 原 一 醉
18	63	渡 邊 大 雅	齋 藤 柳 史	長 谷 川 素 碩
19	平成元	芦 川 雪 舫	渡 邊 大 雅	長 谷 川 素 碩
20	2	松 崎 秋 香	齊 藤 王 寧	渡 邊 大 雅
21	3	谷 津 彤 雲	高 久 香 扇	江 尻 苔 逕
22	4	金 賀 香 楓	谷 津 彤 雲	高 久 香 扇
23	5	齋 藤 柳 史	永 山 閑 遠	金 賀 香 楓
24	6	齋 藤 王 寧	江 尻 苔 逕	細 井 研 堂
25	7	馬 目 香 楊	細 井 清 子	谷 津 彤 雲
26	8	永 山 閑 遠	齋 藤 柳 史	高 野 晶
27	9	高 久 香 扇	細 井 研 堂	馬 目 香 楊
28	10	細 井 研 堂	江 尻 苔 逕	及 川 峰 紘
29	11	馬 目 香 楊	河 辺 素 月	金 賀 香 楓
30	12	木 田 湛 周	齋 藤 王 寧	猪 狩 桂 舟
31	13	木 田 湛 周	猪 狩 桂 舟	細 井 清 子
32	14	鈴 木 我 峻	大 平 峰 生	永 山 閑 遠
33	15	鈴 木 我 峻	細 井 清 子	殿 塚 聖 安
34	16	谷 津 淑 夫	殿 塚 聖 安	細 井 清 子
35	17	鈴 木 花 泉	宮 崎 雪 虹	小 松 遊 苑
36	18	大 河 原 一 醉	小 松 遊 苑	鈴 木 花 泉
37	19	物 江 虹 唐	金 成 晁 泉	小 松 遊 苑
38	20	宮 崎 雪 虹	伊 藤 松 茄	坂 本 一 道
39	21	宮 崎 雪 虹	大 平 峰 生	小 松 遊 苑
40	22	物 江 虹 唐	井 戸 川 保 子	高 野 晶
41	23	金 成 晁 泉	江 川 文 子	新 妻 淡 遠
42	24	新 妻 淡 遠	江 川 文 子	本 田 葉 月
43	25	菜 花 琴 雪	新 妻 淡 遠	臺 麗 子
44	26	村 越 紫 苑	阿 部 嶋 泉	山 川 榮 雪
45	27	井 戸 川 保 子	春 日 賢 治	吉 村 翠 苑
46	28	樋 田 静 流	伊 藤 松 茄	井 戸 川 保 子
47	29	樋 田 静 流	阿 部 嶋 泉	臺 麗 子
48	30	佐 藤 景 苑	臺 麗 子	片 寄 光 月
49	31	馬 上 溪 花	丹 野 清 波	藤 田 桂 雪
50	令和2	馬 上 溪 花	吉 村 翠 苑	金 成 大 雅
51	3	村 越 紫 苑	金 成 大 雅	齊 藤 福 庵
52	4	金 成 大 雅	江 川 文 子	丹 野 清 波
53	5	江 川 文 子	齊 藤 福 庵	吉 村 翠 苑
54	6	山 川 榮 雪	齊 藤 福 庵	西 恵 美 子

註 書の部は第5回市美展から開催

